

三井液化ガス株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビル 5階
供給・需給室 TEL : 03-5157-5571, FAX : 03-5157-5577

2006年1月23日

MLG LPGマーケット情報

No. 06-1

TOPICS :

- A) 1月20日現在の海外市況
- B) FOBマーケット
- C) CFRマーケット
- D) テンダー結果
- E) 原油価格動向
- F) 2006年2月CP予想
- G) フレート動向
- H) 国内需給状況

【添付資料】

サウジCPおよびアラビアンライト原油価格推移
アラビア湾 - 日本 VLGC運賃推移表

A) 1月20日現在の海外市況

	プロパン	ブタン		プロパン	ブタン
1月CP	\$575/MT	\$585/MT	中東スポット(対2月CP)	\$5~+\$5/MT	\$5~+\$5/MT
北海(BPAP)	\$611/MT	\$524/MT	CFR日本(冷凍)	\$675-\$680/MT	\$680-\$685/MT
北海スポット	\$636-\$642/MT	\$617-\$623/MT	CFR南中国(高压)	\$678-\$690/MT	(Mixed P:B=30:70)
アルジェリア(SP)	\$620/MT	\$500/MT	2月先物(CPスワップ)	\$614-\$618/MT	
米国	\$539-\$541/MT	\$598-\$600/MT	原油(アラビアライト 1/20)	\$61.00/BBL	

B) FOBマーケット

1) 中東スポット

過去最高値となった1月CP発表後も、12月中旬以降に極東地域を襲った寒波の影響による需要増加でFOB買いが入ったことや、アブダビ・クウェートのメンテナンスによる生産減要因も加わり、Spot価格は上昇しました。サウジアラムコがtrader向けにSpot販売した1月末積みプロパンは\$628/MTの高値を付け、更に現在の売値は\$630/MTを超えていると見られています。一方、ブタンはタイト傾向ではあるものの、買いはプロパンほど強くはないためP/B格差は縮小してきており、現在はプロパン対比+\$5/MT程度となっております。

2) ヨーロッパ

原油・ナフサ価格の上昇に加え、欧州をも襲っている寒波に伴う需要増加、更には北海の生産トラブルによる需給タイト化で、欧州マーケットも歴史的な高値圏へ急騰しています。但し、寒波は一時的な要因との見方もあり、価格差のある米国からのアービトラージカーゴの流入も見込まれているため、相場はやや落ち着きを取り戻してくるものと見られています。

3) 米国

原油相場は上昇基調にありましたが、米国北東部の温暖な気候を背景に天然ガス相場が下落していたこと、また、プロパン在庫も高水準(1/13時点で425万MT程度、前年比+8%レベル)にあることで、米国のLPG相場は他地域に比べて割安なマーケットとなっています。その為、欧州・地中海向けの輸出が数カーゴ行われることとなり、今後在庫水準も例年ベースへ下落していく見通しとなることから、割安感は是正されてくるものと考えられます。

C) CFRマーケット

極東地域に到来した寒波の影響で、12月中旬より需要が急拡大しており、特に低在庫オペレーションを続けていた日本勢の買いが活発になったことから、極東CFRマーケットは急騰しています。昨年末にプロパンが\$630/MTで成約された後は、1月末~2月前半までに到着予定のカーゴに買いが集中して、相場は\$670台半ばまで上昇しました。その後、スエズ以西からのアービトラージカーゴの流入が見込まれることから、一旦緩んで\$650/MT前後まで下落しておりましたが、寒波が継続する見通しとなっており、低在庫水準の中で買い需要が顕在化してきており、再び\$680/MTを伺う強い相場となっております。

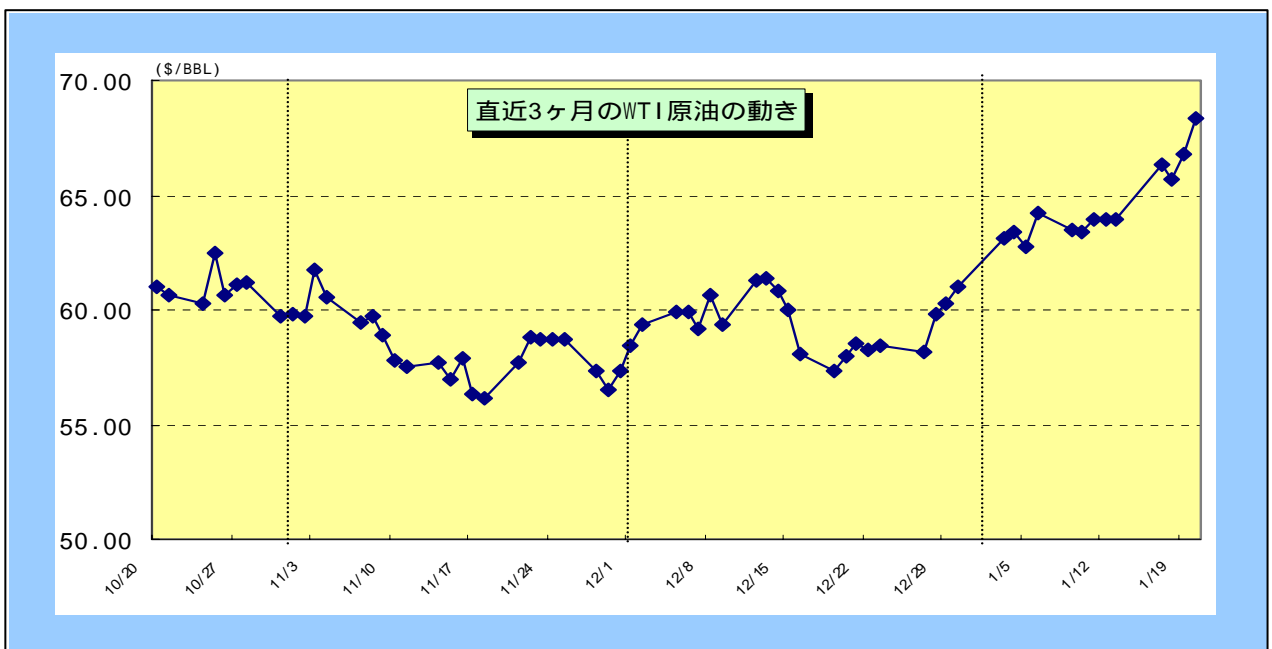
D) テンダー結果

- ・台湾 CPC 社買いテンダー（DES、2/15-28 着、P 13,000MT/B 7,000MT）
2月 CP + \$60 前後で落札された模様。
- ・中国 Sinobenny 社買いテンダー（DES、2/9~3/10 着、P 11,000MT/B 11,000MT）
Geogas 社が固定価格\$660 台半ばと市況リンクの混合価格で落札した模様。
- ・中国 Sinobenny 社買いテンダー（DES、2/24~28 着、P 22,000MT）
\$660 台半ばから後半の固定価格で落札された模様。

E) 原油価格動向

米国北東部の温暖な天候状況はさほど変わっていないものの、イスラエル/シャロン首相の容態悪化により中東和平プロセスに先行き不安が生じていることに加え、イランが核関連活動を再開したことで中東情勢に緊張が高まっており、また、ナイジェリアでは反政府勢力による石油関連施設への攻撃が激化して原油生産・出荷に影響が出ていることから、マーケットは大きく上げており、WTI 原油は 1/20 には約 4 ヶ月半ぶりの高値となる \$69/BBL 台を記録しております。

ロシア - ウクライナ間の天然ガス問題により、供給国としてのロシアに対する不信感が出たこと、アルカイダ系ウェブサイトで、米アラスカの石油・ガス施設への攻撃が呼びかけられていたこと等も相場上昇のサポート要因となりました。世界中が混沌とした状態となっており、今後も、特にナイジェリア情勢に何らかの解決の方向性が見られるまでは、堅調なマーケットが続くと見る向きが多い状況です。



F) 2006年2月CP予想

原油・中東 FOB・極東 CFR の各市況から 2月 CP は下記レンジを予想します。

プロパン：\$615 ~ \$625 /MT ブタン：\$620 ~ \$630 /MT

G) フレート動向

CFR 相場の上昇に連れて船腹調達の動きも活発となり、また、荒天による船の到着遅れといった要因もあって、2月前半にオープンな船がほとんどなくなり、現在のフレート相場は再び\$50/MT半ば～後半(中東 - 日本間)まで上昇する強い展開となっております。スエズ以西からのアービトラージカーゴ流入に伴い、スエズ以東へ船も戻ってくる見通しではありますが、寒波により荷動きが活発なため、まだ暫くは堅調なマーケットが続くものと思われれます。

H) 国内需給状況

日本 LP ガス協会の 12 月分「5 日集計」はまだ公表となっていませんが、12 月末の全国在庫は 200 万 MT を割り込んで、極めて低在庫水準になっているものと見られています。2004 年 12 月末は 250 万 MT の在庫水準でしたので、前年同月比では 50 万 MT 以上の大幅減となっており、また、備蓄義務量が 185 万 MT 程度ですので、ランニング在庫も 2 日分程度しかなかったこととなります。これは、12 月中旬からの寒波により、需要が大幅に伸びたこと(前年比 + 約 10%程度は伸びていると見られています)が大きな要因として挙げられます。

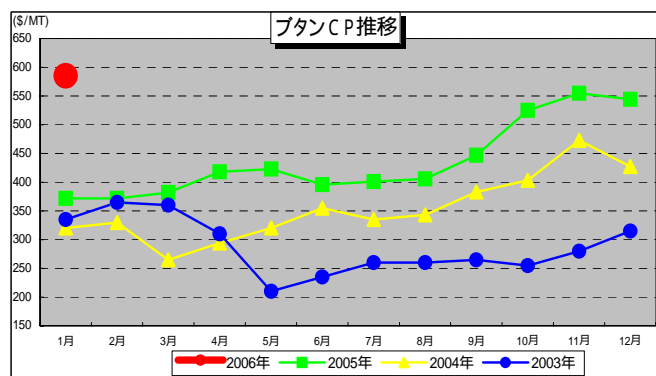
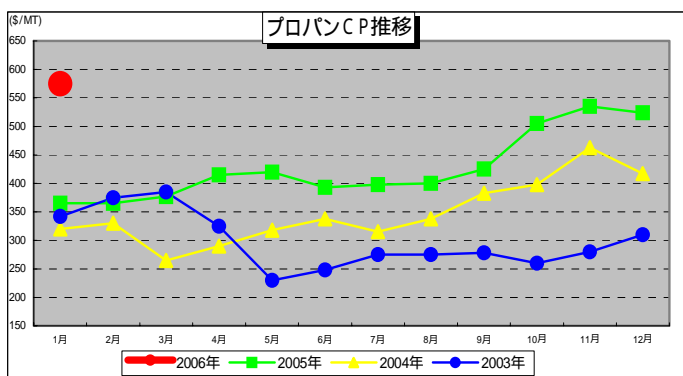
1 月以降到着の Spot 調達搬入量も増えてはいますが、出荷は堅調な状況が継続しており、また、今後も気温が平年並みか低くなると見られておりますので、引き続き非常にタイトな需給が続くものと考えられます。

以上

サウジCPおよびアラビアンライト原油価格推移

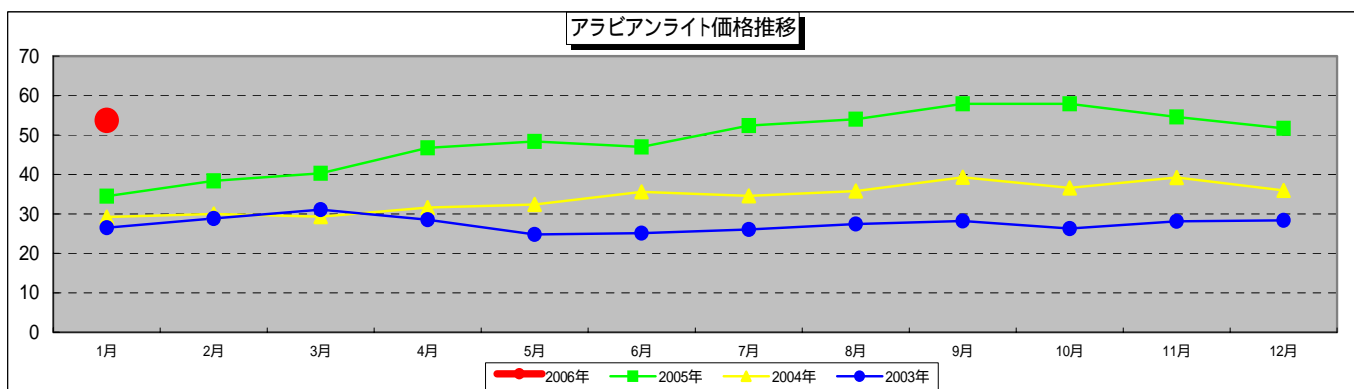
1. CP価格推移

(\$/MT)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Average
プロパン	2006年	575												575.0
	2005年	365	365	377	415	420	393	398	400	425	505	535	524	426.8
	2004年	320	330	265	290	318	338	315	338	383	398	463	417	347.9
	2003年	342	375	385	325	230	248	275	275	278	260	280	310	298.6
	06/05	210	-365	-377	-415	-420	-393	-398	-400	-425	-505	-535	-524	148.2
ブタン	2006年	585												585.0
	2005年	372	372	382	418	423	396	401	406	447	525	555	544	436.8
	2004年	320	330	265	294	320	355	335	343	383	403	473	427	354.0
	2003年	335	365	360	310	210	235	260	260	265	255	280	315	287.5
	06/05	213	-372	-382	-418	-423	-396	-401	-406	-447	-525	-555	-544	148.3



2. アラビアン・ライト(AL)価格推移

(\$/BBL)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Average
前月AL	2006年	53,746												53,746
	2005年	34,523	38,403	40,322	46,778	48,349	46,952	52,365	53,996	57,910	57,895	54,545	51,707	48,645
	2004年	29,238	30,038	29,293	31,618	32,400	35,603	34,560	35,816	39,287	36,603	39,198	35,978	34,136
	2003年	26,483	28,838	31,095	28,534	24,834	25,112	26,055	27,435	28,216	26,252	28,148	28,356	27,447
	06/05	19,223	-38,403	-40,322	-46,778	-48,349	-46,952	-52,365	-53,996	-57,910	-57,895	-54,545	-51,707	5,101



3. CP/AL 熱量対比 (AL等価=100%)

(%)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Average
プロパン	2006年	130.49												130.49
	2005年	128.95	115.92	114.04	108.21	105.95	102.09	92.70	90.35	89.51	106.39	119.63	123.60	108.11
	2004年	133.49	133.99	110.34	111.87	119.71	115.79	111.17	115.10	118.90	132.62	144.06	141.36	124.03
	2003年	157.51	158.60	151.01	138.92	112.96	120.45	128.73	122.26	120.17	120.80	121.33	133.34	132.17
	06/05	1.53	-115.92	-114.04	-108.21	-105.95	-102.09	-92.70	-90.35	-89.51	-106.39	-119.63	-123.60	22.37
ブタン	2006年	134.60												134.60
	2005年	133.25	119.79	117.15	110.50	108.19	104.30	94.70	92.98	95.45	112.14	125.83	130.10	112.03
	2004年	135.34	135.86	111.87	114.99	122.14	123.31	119.87	118.43	120.56	136.15	149.22	146.77	127.88
	2003年	156.43	156.52	143.17	134.35	104.57	115.72	123.40	117.19	116.14	120.12	123.01	137.37	129.00
	06/05	1.35	-119.79	-117.15	-110.50	-108.19	-104.30	-94.70	-92.98	-95.45	-112.14	-125.83	-130.10	22.57

【添付】

アラビア湾 - 日本 VLGC 運賃推移表

(\$/MT)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Average
2006年	55												55.00
2005年	41	38	42	38	32	31	32	40	61	53	38	42	40.67
2004年	30	30	28	28	32	31	33	46	45	47	40	41.0	35.92
2003年	28.00	25	30	32	36	37	31	33	29	23	30.0	30	30.29
2002年	19	17	20.00	18	17	18	21	25	24	25	28	25	21.35
2001年	50	50	43	37	37	35	32	25	18	17	15	17	31.35
2000年	29	37	30	37	39	39	41	41	42	45	45	45	39.17

(出典：Market Indicators by Gibson)

